

グラビア

サブテーマ 1 : 火山噴出物分析による噴火事象分岐予測手法の開発

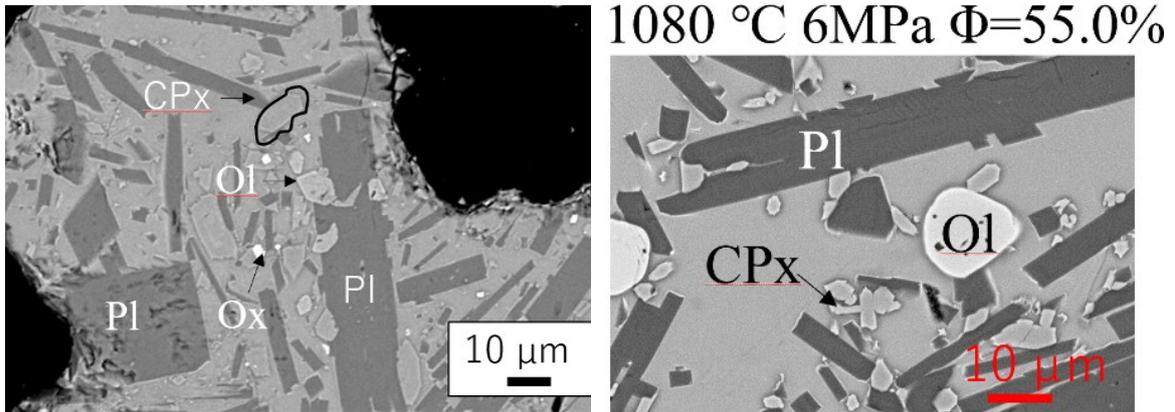


図1 富士火山宝永スコリアの代表的サンプル（左）と溶融実験産物（右）の反射電子像：
Pl = plagioclase, Ol = olivine, Ox = oxide, CPx = clinopyroxene.

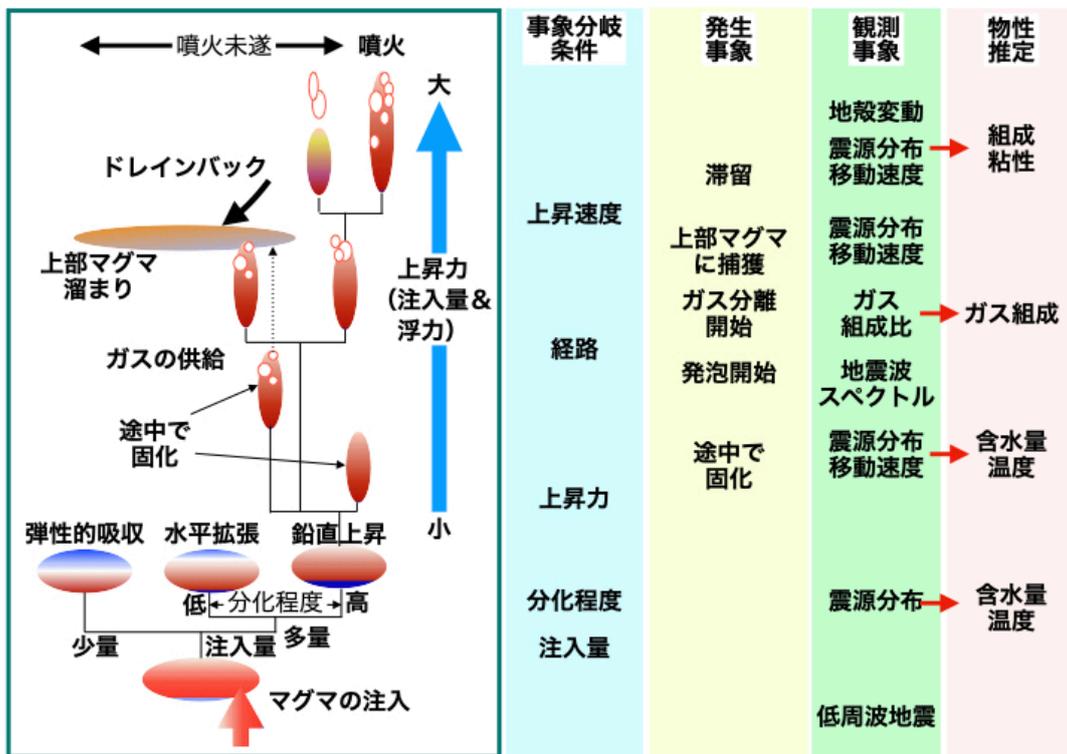


図2 単純化した深部マグマ溜まりモデルによる噴火の推移と様式の予測の概念図。

サブテーマ2：噴火履歴調査による火山噴火の中長期予測と噴火推移調査に基づく噴火事象系統樹の作成



写真1. 阿蘇山 2021年10月20日噴火の調査の様子(左)と噴出物の実体顕微鏡写真(右)。熊本大学・防災科学技術研究所・産業技術総合研究所によって、内閣府「降灰調査データ共有化スキーム」に基づく緊急降灰調査が実施され、調査は夜間に及んだ。



写真2. アトサスプリ火山の野外調査の様子。(左) 中島火山沿岸域調査、(右) 重機トレンチ掘削調査。

サブテーマ3：シミュレーションによる噴火ハザード予測手法の開発

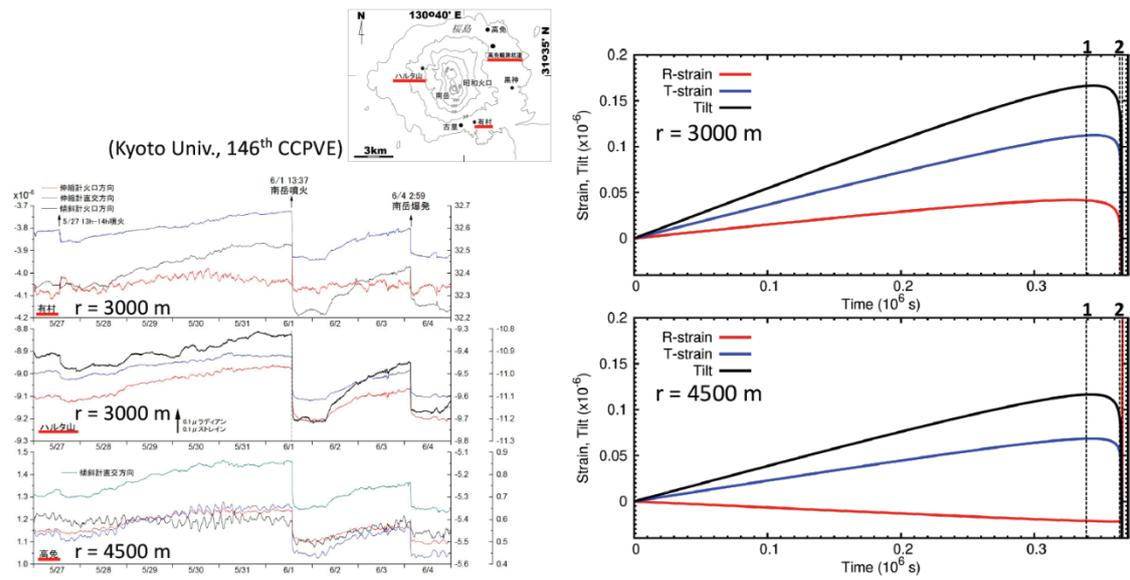


図1 2020年6月に桜島のブルカノ式噴火前後に発生した地殻変動（左）と、モデル計算による再現（右）。

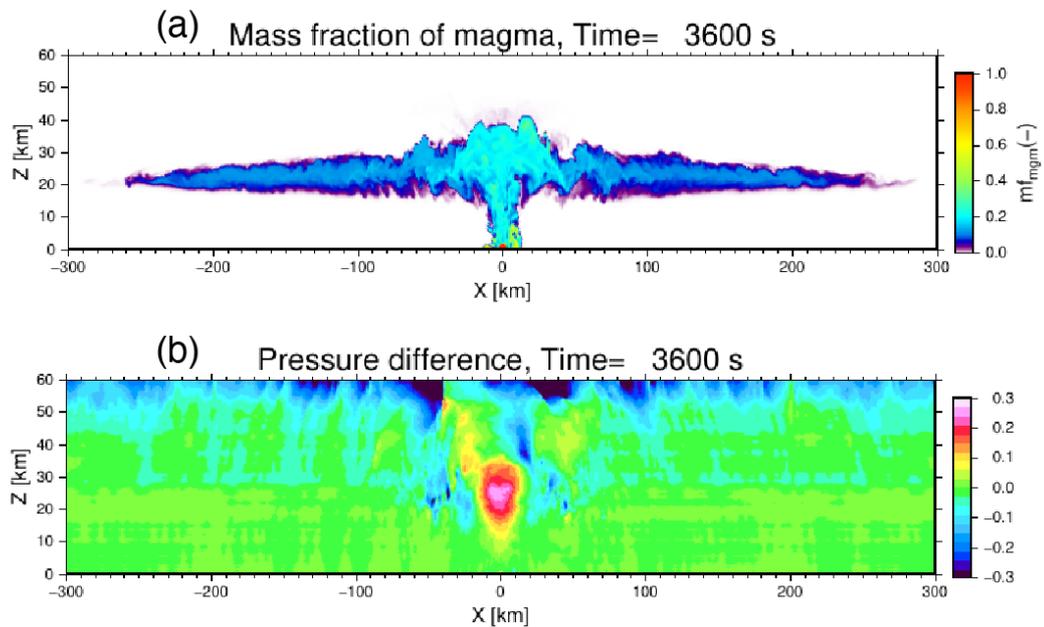


図2 フンガ・トンガーフンガ・ハアパイ火山 2022年噴火の3次元数値シミュレーション結果。火口を含む鉛直断面における(a)噴出物質量分率分布と(b)各高さにおける大気圧からの圧力差分布 ($\log P/P_{atm}$)。